

未来をひらく

「確かな学力」をつけるために、学校と家庭、力を合わせて

北九州市の子どもたちの学力の現状

今、求められている学力とは…

本市では、「一人一人に『生きる力』を育む学校教育の創造」を目標に掲げ、全ての学校で取り組んでいます。『生きる力』の3要素（『確かな学力』・『豊かな心』・『健やかな体』）の一つである『確かな学力』には、知識や技能に加えて、学ぶ意欲や、自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よじよく問題解決する資質や能力等まで含まれます。

本年度4月22日に小学校6年生、中学校3年生を対象に全国「斉」で行われた学力・学習状況調査で問われている力は、まさにこうした、知識・技能やそれを実生活の様々な場面で活用する能力であり、子どもたちが変化の激しいこれからの社会を生き抜いていく上で、必要不可欠なものです。しかしながら、本年度の調査結果では、本市の児童生徒の学力の状況を全国と比較すると、小学校6年生、中学校3年生ともに全国平均正答率を下回っています。この調査結果を振り返って、今、求められている力はどんな力か、そのために、学校や家庭でどんな取り組みが必要か、「平成26年度全国学力・学習状況調査報告書」としてまとめました。

広がる進路・職業の選択肢

基礎的な知識及び技能

思考力 判断力 表現力等

学習意欲

「学力の3要素」

平成26年度 全国学力・学習状況調査結果(平均正答率)

○小学校6年生

	国語A	国語B	算数A	算数B
本市	69.1	52.6	76.2	55.4
全国	72.9	55.5	78.1	58.2
全国平均との差と割合	-3.8 (94.8%)	-2.9 (94.8%)	-1.9 (97.6%)	-2.8 (95.2%)

○中学校3年生

	国語A	国語B	数学A	数学B
本市	77.2	47.6	62.4	54.4
全国	79.4	51.0	67.4	59.8
全国平均との差と割合	-2.2 (97.2%)	-3.4 (93.3%)	-5.0 (92.6%)	-5.4 (91.0%)

概要は市のホームページをご覧ください。

北九州市 全国学力調査 検索

2面につづく

子どもの学習を支えるポイント

ココがポイント!

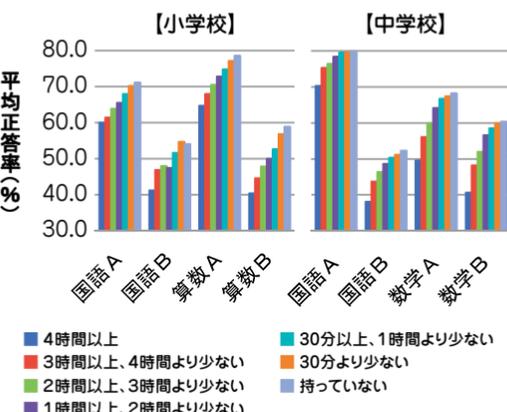
■ テレビやゲーム、ケータイのルールを作りましょう!

ゲームなどをしすぎると、ゲーム脳(物事にキレやすく、時間感覚が欠落し、物忘れが激しくなるなどの症状)になる危険性が高まります。そこで、「夜10時になったら、ケータイの電源を切る。」「テレビやゲームは1日1時間以内」などルール作りが必要になります。ルールを作ったら親子で守りましょう。大切なのは「ルールを守る力」をつけることです。

■ 子どもの自発性を見守り、認めましょう!

子どもの心と体の健やかな成長のためには、規則正しい生活習慣が大切です。生活習慣の乱れは学習意欲、体力、気力の低下の要因です。家族全員で生活を見直し、子ども自身が「自分のことは自分でする」という自発性を身に付けましょう。子どもがやり始めた時は、横を逃さずに「頑張ってるね」の言葉で、自発的な行動を勇気づけることがコツです。

平日に携帯電話やスマートフォンで、通話、メール、インターネットをする時間と平均正答率との関係



※メディア接触時間が長いほど、平均正答率が低くなっています。

子どもたちの思いと生活の現状

未来への期待ふくらむ
北九州市の子どもたち

全国学力・学習状況調査では、学習や生活の状況についてもアンケートを行います。その中で、本市では「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがあろう」と肯定的に答えた児童生徒の割合が、小学校・中学校とも、増加傾向にあります。

また、「将来の夢や希望をもっている」と答えた児童生徒は、全国より割合が若干高く、本市の子どもたちが、充実した毎日を送っており、自分の未来に対して希望を抱いていることがわかります。

学力向上にとって、家庭での学習はとても大切です。本市では、家庭で1時間以上勉強をしている児童は増加傾向にはありますが、全国平均と比べるとまだ差があります。更に、家庭での勉強を全くしない児童生徒の割合は全国平均を上回っています。家庭学習の習慣をつけるために、「家庭学習チャレンジハンドブック」などを是非、「活用」ください。

また、メディアへの接触時間についても学力と関係が深く、調査結果からもメディアへの接触時間が長いほど、平均正答率が低くなっていることが明らかになっています。本市では、小・中学校とも携帯電話やスマートフォンを使う時間が増加傾向にあり、全国に比べて長いことが課題となっています。PTA協議会が進めている「ケータイ 夜10時電源OFF運動」などにも積極的に取り組んでいきたいと思えます。

見つめ直そう、
家庭での過ごし方

学習や生活の状況のアンケート結果(抜粋)

	1時間以上	小学校6年生			中学校3年生		
		本市	全国	本市	全国		
		H25年度	H26年度	H25年度	H26年度	H26年度	
家庭学習(平日)の時間について		49.6%	50.2%	62.0%	55.5%	54.8%	67.9%
	全くない	6.8%	5.5%	3.2%	15.4%	14.7%	5.7%
平日の読書時間	30分以上	37.3%	39.3%	38.2%	31.2%	31.9%	31.4%
将来の夢や希望をもっている	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」	88.2%	86.9%	86.7%	73.1%	71.5%	71.4%



学力向上を目指した学校における取組み

1 単位時間の授業の中での取組み

キーワードは“徹底” 学力向上へ、学校の挑戦・・・ 全校挙げての取組み

前頁で示したような全国学力・学習状況調査の結果を受けて、本市の全小・中学校では、子どもたちの実態を分析し、調査結果から明らかになった課題解決のための重点的な取組みを、各学校のホームページや学校便りを通じて保護者や地域の方に発信しています。

また、本市では学力調査の結果を受けて、授業の中で学力向上につながる「5つの取組み」を、各学校で徹底させるべく実践しています。本年度の学力向上に向けた取組みのキーワードは“徹底”です。これまでも学校では様々な取組みを行ってききましたが、これからは学力向上に向けて、さらに徹底して粘り強く取り組みます。

学習規律の徹底

話している人の方を向いて聞くなど、「授業の約束」を定めたり、始めと終わりの挨拶をきちんと行うようにしています。

めあて・まとめ・振り返りの提示

授業のゴールを示し、1単位時間の学習内容がすっきりと整理された板書を心がけています。ノートの書き方をスモールステップで指導しています。

一問一答でなく、様々な考えを引き出したり、「なぜ?」「どうして?」と子どもが自分から考えを深めたりするような問題を投げかけるようにしています。

発問の工夫

学級全体や小グループなどで、お互いの考えを出して話し合う活動を、1単位時間の授業で1回は取り入れるようにしています。

話し合う活動を取り入れる

まとめの時間の確保

1単位時間の授業を振り返って、わかったことや解決したこと、問題として残ったことなど、子どもたちが自分の言葉でノートに書くようにしています。



日々の学校の中での取組み

一継続的な取組みをー 各学校の学力向上プランにおける取組み

●基礎・基本及び活用力を高める取組み

- ① 朝自習など特設時間の取組み
 - 朝自習で基礎・基本の徹底を図る。
 - 漢字、計算、暗唱コンクール等を実施する。
 - 給食準備時間や帰りの会等で補充学習を行う。
 - 朝読書に取り組む。
- ② 学力調査の問題などを利用した取組み
 - 「活用する力を高めるワーク」を活用する。
 - CRT(標準学力検査)のアシストシートを活用する。
 - チャレンジシートを活用する。
 - 学力調査の過去問題を活用する。

●授業改善のための取組み

- ① 「授業のきまり」の設定
 - 同じ中学校区内の小・中学校で、共通の約束を決めて掲示する。
 - 目指す学級の姿をイメージできる学級目標をつくる。
- ② 定期テスト・小テストにおいて活用力を問う問題の出題
 - 資料から読み取ったことをもとに論述する問題を出題する。
 - 与えられた条件で、課題について書く作文を出題する。
- ③ 「書く活動」「話し合う活動」の充実
 - 自分の考えを書く⇒友達と意見交換をして考えを深める。⇒まとめで、深まった考えを論述する。
 - 自主学習ノート等の取組みを継続する。

<城野小学校の取組み>

毎朝15分間の学習活動

音読、漢字プリント、算数タイム、読書ボランティアによる読み聞かせ。

毎週月曜日と火曜日の放課後教室

計算プリントを使って習熟を図る。

☆「子どもひまわり学習塾」毎週水曜日・木曜日

児童13名が参加し、3～4名の指導員から指導していただいています。

1. 朝の活動と放課後教室				
(1) 朝の活動 8:40～8:55				
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
音読タイム	国語タイム 読み聞かせ	算数タイム	読書タイム	算数タイム



読書ボランティアによる読み聞かせ



算数タイム

具体的な事例紹介

※各校の取組みについては、それぞれの学校のHPをご覧ください。

<松ヶ江中学校の取組み>

若年教師を中心とした実践的な授業研究

教科共通テーマ：

- ① 学力向上につながる指導方法の工夫
- ② 視聴覚機器、視聴覚教材を開発し生徒の学力向上につながる授業の創造
- ③ 指導の基礎技術力の向上

授業後の研修会で、評価や助言を行います。先輩教員からの厳しい指摘もありますが、次からの授業に役立っています。



家庭学習習慣定着のための取組み



家庭につなぐ、毎日の積み重ね 家庭学習のススメ・・・学習習慣づくりを

★家庭学習の徹底のために全校が共通して行うこと★

- 1 学校として共通理解を図り、必ず宿題を出します。
- 2 調べたり、文章を書いたりする課題を与える機会を多くします。
- 3 家庭での学習方法を、具体例を挙げながら教えます。
- 4 宿題、家庭学習は、必ず点検し、評価します。
- 5 『家庭学習チャレンジハンドブック』を活用してもらいます。

『家庭学習チャレンジハンドブック』の活用について

教育委員会では、家庭学習を行う上でのナビゲーターとして、小学校1年生～4年生版と、小学校5年生～中学校3年生版からなる『家庭学習チャレンジハンドブック』を配布しています。毎日の学習を記録したり、学習の仕方の参考にしたりするなど、ご活用ください。



「北九州市家庭学習マイスター賞」の取組み

本市では、家庭学習の定着と充実を図り、学力の向上を目指し、「主体的」、「計画的」、「継続的」に家庭学習に取り組んだ児童生徒を「家庭学習マイスター」として表彰しています。昨年度は388点の応募があり、今年度はさらに増えて1300点を超える応募となりました。

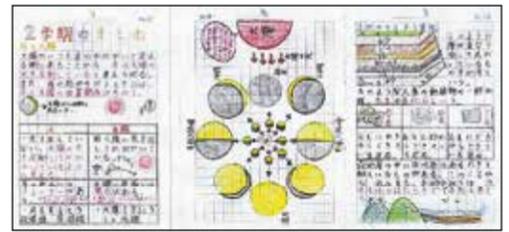


右に掲載のノートは、昨年度、家庭学習マイスター賞を受賞した、小学6年生の山口さんと、中学1年生の光井さんの家庭学習ノートです。

山口さんは、表や図等を入れて授業の内容をまとめなおしたり、興味のあるものはより具体的に調べたりして理解を深めています。光井さんは、部活動や塾で時間が取れない中、工夫して家庭学習の時間を確保しています。他の受賞者も、素晴らしい取組みでした。

◎昨年度の家庭学習マイスター賞受賞者のノート

小6
山口さんのノート



中1
光井さんのノート



1週間の学習計画を家庭学習に生かす。

放課後の学びをサポート「子どもひまわり学習塾」

北九州市では、児童生徒の学習習慣の定着と基礎的・基本的内容の定着を図るための支援として、平成26年度より放課後等を利用して小中学校の教室で自主学習を行う「子どもひまわり学習塾」を実施しています。

学習指導員に聞きました。

<指導員の紹介>

- ・朝位 祐子 (あさい ゆうこ) さん
- ・担当学校：長尾小・南丘小・大里東小
- ・指導員になったきっかけ
地元北九州市の子どもたちのために、少しでも役に立ちたいと思っていたので応募しました。



◆「子どもの教育に携わった経験がないから」と、尻込みされている方も、是非一度、指導員をされてみてください。学習については、用意された教材を少しずつでも見れば、どんなことを学習しているのか分かります。また、指導の仕方でも困ったときは、指導員同士で相談することで解決策を見つけられます。気軽に相談し合える雰囲気ですので安心してください。



指導員同士の打合せ風景

Q1. 子どもたちの学習を支援することへの不安は？

A1. 始める前は、不安はありましたが、教育委員会の方が対象学年の教科書や教材プリントと解答を用意され、指導方法に関しては年2回のセミナーを行っていただきました。また、学力向上リーダーの先生が常に学校を訪れ、指導の仕方を教えてもらったので、だんだんと不安はなくなりました。

Q2. 実際に子どもたちと関わり学習支援を行って思ったことは？

A2. 一人一人、性格も学力も違いますし、同じ子どもでも日によって頑張り方が違います。子どもが少しでも頑張りを見せた時、認めて褒めてあげると、やる気もものすごく出てくる場合があります。その効果はとても大きいです。大人でも認められると嬉しいので、「褒める」ことはとても大切だと知りました。

Q3. 学習指導員になって「よかった」「楽しかった」と思うことは？

A3. 一つは、人とのつながりが増えたことです。他の指導員の方々と触れ合い、自分ももっていなかった感性を学ぶことができました。子どもへの対応の仕方「ああ、こういう方法があるんだな。」と学べました。もう一つは、子どもにわかりやすく説明しようとすることで、相手の気持ちを考えながら話すことができるようになりました。

「子どもひまわり学習塾」指導員 募集!!

皆様も「子どもひまわり学習塾」の指導員になってみませんか。「子どもひまわり学習塾」の指導員になるには教員免許は必要ありません。

学生や地域の方など、北九州市の子どもたちの学力向上の支援をしたいと思われる方は、是非ご応募をお願いします。

◆「子どもひまわり学習塾」指導員の概要

- ①活動内容
・指導員1人につき、概ね5～6人の児童生徒の自主学習の支援
- ②対象・実施教科
・小学校3～6年生 国語・算数
・中学校3年生 英語・数学
- ③活動時間等
・原則週2回(概ね午後3時30分～5時30分)
・1時間の学習時間に準備や後片付けを含めて1回2時間程度
・中学校のみ夏休みなどの長期休業中も実施(午前中)
- ④報酬
・1時間当たり小学校1,100円、中学校1,300円
- ⑤保険加入
・活動中の事故に対応するため、傷害・賠償責任保険に加入(保険料は市が負担)

※その他詳細は、北九州市のホームページをご覧ください。

子どもひまわり学習塾 検索

★皆様のご応募をお待ちしています。

【お問い合わせ先】
教育委員会指導企画課
TEL 582-2367

「(仮称)ひびきの小学校」の新設について

平成29年4月、若松区と八幡西区にまたがる学研地区に小学校が開校します。現在、この地区の児童は光貞小学校と高須小学校に通学していますが、光貞小学校では児童数が1,000人を超えて教室数の不足が発生しており、今後宅地開発による児童数の増加が見込まれます。このため、教育環境の改善を目的として、新たに小学校を設置することになりました。地域コミュニティの拠点として機能するように、校舎に市民センターと放課後児童クラブを合築して整備します。

現在はPTAや地域の代表者、学校関係者で組織する開校準備委員会において、通学区域や学校名の検討、通学路の安全対策など、開校に向けた準備を進めています。



校名案の報告を受けました

昨年10月には、学校名を「ひびきの小学校」とする案が開校準備委員会から教育長へ報告されました。学校名の検討にあたっては、アンケートを実施し、地区の児童や保護者、住民の方など多くの皆様にご協力いただきました。皆様から寄せられた351案を開校準備委員会にて検討した結果、左記の理由により校名案が決定されました。



建築イメージ

新設校は、様々な地域から人が集い、新しくできた街、ひびきの地区に位置する。子どもたちが成長して羽ばたいた後も、この街を故郷として大切にしたいという想いと、子どもたち一人一人の個性や、明るく元気な声が響き合う学校になって欲しいとの願いを込めた。

なお、この校名案は、条例改正(平成27年3月を予定)により、正式決定となります。

平成26年度

「あいさつ運動優秀実践校」表彰校の決定!

表彰校の決定!

教育委員会では、「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」に「あいさつ」できる子ども日本一」を掲げ、「あいさつ運動」を推進しています。今回、特色ある「あいさつ運動」を展開し、他の模範となる優秀な取り組みを実践している学校を「あいさつ運動優秀実践校」として決定しました。表彰校は次のとおりです。(応募校数36校)

なお、表彰校には、表彰状と各学校の希望に応じたオリジナルののぼり旗を贈呈しました。

「あいさつ運動優秀実践校」表彰校

【小学校(6校)】 ※区順

- 小森江東小(門司区)
- 桜丘小、寿山小、西小倉小(小倉北区)
- 吉田小(小倉南区)
- 星ヶ丘小(八幡西区)

【中学校(4校)】 ※区順

- 早鞆中(門司区)
- 高須中(若松区)
- 永犬丸中、木屋瀬中(八幡西区)

表彰校の取組み事例については、今後ホームページ等でお知らせします。

また、表彰校以外の学校においても、保護者や地域の方にご協力いただき、さまざまな「あいさつ運動」を実施しています。各学校において、「あいさつ運動」がより一層展開されるよう、今後とも学校への支援をお願いします。



言葉でのあいさつに加え、握手でふれあう取組み



学校独自のあいさつキャラクターを活用した取組み

教育委員会の事務管理及び執行状況の点検及び評価について

教育委員会では、「子どもの未来をひらく教育プラン」「生涯学習推進計画」に掲載された施策について、毎年度、点検・評価し、その結果を議会に報告するとともに、市のホームページで公表しています。

今年度の評価結果(平成25年度実績)は、全15施策のうち、A評価(大変順調)が「地域と連携した学校運営の実現」の1施策、B評価(順調)が「心の育ちの推進」「特別支援教育の充実」など14施策でした。この結果を今後の施策に生かし、効果的な教育行政の推進に努めてまいります。

北九州市教育委員会事務の点検・評価ページ
http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kyouiku/file_0043.html

小・中学校、幼稚園の普通教室へのエアコン設置について

子どもたちの教育環境の改善と健康保持のため、市立の小・中学校、幼稚園の普通教室にエアコンを設置することとしました。

まず中学校5校を先行して整備し、その後、複数年かけて全校園に設置する予定です。

お問合せ先：教育委員会施設課 (Tel.582-2361)

平成26年度 部活動などでの主な実績

部活動等で全国大会などに出場した市立の学校を紹介します。(H26.12時点)

国体

- 北九州市立高校・・・陸上競技(女子1500m、女子3000m)
- 引野中学校・・・体操(女子個人)

インターハイ

- 北九州市立高校・・・陸上競技(女子1500m、女子3000m)

全国高校駅伝大会

- ・・・北九州市立高校(女子陸上部)

全国中学校体育大会

- 思永中学校・・・陸上競技(女子200m)
- 篠崎中学校・・・陸上競技(女子800m)、水泳競技(女子100mバタフライ)
- 白銀中学校・・・柔道(男子81kg)
- 広徳中学校・・・陸上競技(男子3000m)
- 曾根中学校・・・柔道(男子60kg)
- 沼中学校・・・陸上競技(男子110H)
- 守恒中学校・・・陸上競技(女子1500m、女子走高跳)
- 湯川中学校・・・陸上競技(男子110H)
- 横代中学校・・・卓球(男子団体)
- 二島中学校・・・バスケットボール(女子)
- 枝光台中学校・・・陸上競技(男子走高跳)
- 大蔵中学校・・・柔道(男子団体 **第3位**)、男子55kg、男子66kg **優勝**)
- 中央中学校・・・バレーボール(男子)
- 浅川中学校・・・陸上競技(男子400m、女子1500m)
- 沖田中学校・・・バドミントン(男子シングルス)
- 折尾中学校・・・バスケットボール(女子) **優勝**
- 引野中学校・・・体操(女子個人)



全日本マーチングコンテスト

- ・・・木屋瀬中学校 **銅賞**

マーチングバンド全国大会

- ・・・志徳中学校 **銀賞**、香月中学校 **銀賞**

